

## 第39号会報発送報告

令和2年8月29日燃えるような酷暑の中、第39号関東あまたか会報の発送作業が大宮工房館にて行われました。時あたかもコロナ戦争真っ最中、14人が集まって作業できる場所はなかなかありません。あちこち探した結果、幸運にも活動を休止していた大宮工房館が再開、副会長の星野さんにご主人が世話役となって借りることができたのです。

地理不案内な初めての場所とあって早めに家を出たり、久方ぶりの外出に緊張気味に集まったのですが、山中会長と星野副会長の懇切丁寧な地図のお陰であっさり目的地に辿り着きました。

普段は焼き物教室に使われている部屋はソーシャルディスタンスに十分な広さを持ち合わせ、水道も完備。大きな窓の向こうは水を満々と張った用水路。兩岸には桜がこんもりと枝を張り、花の季節に作業したいねと、みんなの意見が一致しました。付け加えればお弁当も盛りよく、お安く、美味しかったのです。

快適な環境が幸いしてか、なんのトラブルもなく締切時間に余裕を残して作業終了。その後さいたま新都心郵便局での発送も粛々と進んで、久しぶりのお酒を楽しむ面々が足取りも軽く駅前通りに流れて行きました。

会報がお手元に届きましたら役員達の奮闘に思いを馳せて読んでいただければ嬉しいです。(高21馬場(旧那須))





